

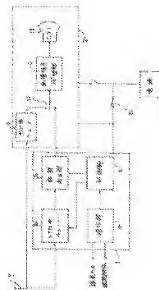
# VIDEO RECORDING DEVICE FOR VIDEO TIMER

Publication number: JP6111413 (A)  
 Publication date: 1994-04-22  
 Inventor(s): KONOYANI TETSUYOSHI +  
 Applicant(s): FUNAI ELECTRIC CO +  
 Classification:  
 - International: G11B15/02, H04N5/76; G11B15/02, H04N5/76; (IPC1-7): G11B15/02  
 - European:  
 Application number: JP19920279391 19920924  
 Priority number(s): JP19920279391 19920924

## Abstract of JP 6111413 (A)

**PURPOSE:** To surely perform timer video recording without making the standby state of the timer recording in a video timer recorder.

**CONSTITUTION:** The starting and the ending times of recording, a channel and a recording mode are inputted by means of a setting key for timer recording from an operation part 3, the contents are stored in a control part 4, sends a forced recording signal to a recording/reproducing part 5 just before the starting time of the timer recording, the timer recording is executed giving the most priority and a power source is turned off at the ending time of the timer recording. At the whole, this operation of reproduction, recording and monitoring display in the normal mode are not ejected.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-111413

(43)公開日 平成6年(1994)4月22日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

G 1 1 B 15/02

識別記号

3 2 8 S 8022-5D

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平4-279391

(22)出願日 平成4年(1992)9月24日

(71)出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中堀内7丁目7番1号

(72)発明者 此 谷 哲 由

大阪府大東市中堀内7丁目7番1号 船井

電機株式会社内

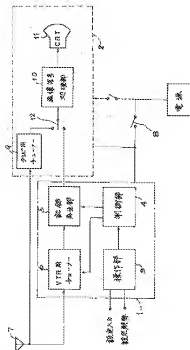
(74)代理人 弁理士 佐藤 英昭

(54)【発明の名称】 ビデオタイマー録画装置

(57)【要約】

【目的】 ビデオタイマー録画装置において、タイマー記録スタンバイ状態にしないで確実にタイマー録画を行う。

【構成】 操作部3からタイマー記録設定キーにより記録開始時刻、終了時刻、チャンネル、記録モード等の入力を行い、制御部4が内容を記憶してタイマー記録開始時刻の直前に強制記録信号を記録再生部5へ送出して、最優先でタイマー記録を行い、タイマー記録終了時刻に電源オフする。その間、通常モードでの再生、記録、モニター表示等の操作は排除されない。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 タイマー予約録画機能を有するビデオテープレコーダにおいて、

記録開始時刻、終了時刻、チャンネル、記録モード等の予約設定を行うタイマー記録設定キーと、設定解除キーを有する操作部と、前記操作部の設定内容を記憶しタイマー記録開始時刻には記録部へ強制記録信号を送出して強制的にタイマー記録を行い通常モードによる操作も可能とする制御部と、を備えたことを特徴とするビデオタイマー録画装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、タイマー予約機能を有するビデオレコーダに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、ビデオテープレコーダ（以下VTRと称す）でタイマー予約録画を行う場合、記録開始時刻、終了時刻、記録チャンネル、記録モード等を、設定キーにより設定した後、タイマー・セットキーを押すことによりスタンバイとしてタイマー記録を可能にしている。

【0003】 図3は従来のタイマー録画装置における処理のフローチャートである。先ず、タイマー記録開始時刻、終了時刻、チャンネル、記録モード等の内容をプログラム入力する（S-20）。設定入力したプログラムを制御部に記憶し（S-21）、電源キーがオフされたかを判別する（S-22）。判別の結果がN.O.の場合は元に戻り、YESの場合はタイマー記録スタンバイに移る（S-23）。以降は制御部は設定されたタイマー記録開始時刻になったかどうかを常に監視し、この間は電源スイッチをタイマー・セットキーによる解除が受けつけず、他の通常モードの操作は受け付けない。

【0004】 タイマー記録開始時刻の前直前になったら記録を開始し（S-24）、記録が終了したら電源オフにしてタイマー録画を終了する（S-25）。電源キー（あるいはタイマー・セットキー）によって、スタンバイされない、通常モードの停の状態であり、タイマー記録開始時刻になってもタイマー記録は行われない。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、図3に示す従来技術においては、タイマー記録の設定を行ってプログラム入力しても、スタンバイ状態に確定しないとタイマー録画は行われないので、設定入力したまま通常モードの操作を行って、タイマー記録開始時刻になっても気がつかず、スタンバイ状態にならなかった場合はタイマー記録ができないという不都合が起こり、また、一旦スタンバイ状態になるとVTRを通してモニターで番組を見る等の通常のモードの操作ができない等の問題があった。

【0006】 本発明は上述の問題点に鑑みてなされたら

のであり、タイマー・セットキーによるスタンバイ操作を行わずに、タイマー記録開始時刻には強制的に予約録画を行い、その間通常モードの動作も可能にするビデオタイマー録画装置を提供することを目的としている。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明は、タイマー予約録画機能を有するビデオテープレコーダにおいて、記録開始時刻、終了時刻、チャンネル、記録モード等の予約設定を行うタイマー記録設定キーと、設定解除キーを有する操作部と、前記操作部の設定内容を記憶しタイマー記録開始時刻には記録部へ強制記録信号を送出して強制的にタイマー記録を行い通常モードによる操作も可能とする制御部と、を備えたことを特徴とするものである。

## 【0008】

【作用】 上記構成とすることにより、操作部のタイマー記録設定キーにより、記録開始時刻、終了時刻、指定チャンネル、記録モード等の内容を直接またはリモコン等を用いて入力して設定を行い、設定後に設定内容を変更するか、タイマー記録を中止する場合は設定解除キーを押して、前の設定入力をクリアする。設定入力は制御部が記憶してタイマー記録開始時刻を監視する。タイマー開始時刻直前になったら、制御部は記録部へ信号を送出して強制的にタイマー記録を行い、記録終了時刻にはタイマー記録を終了させて、制御部のプログラム上、タイマー・セットキー等によるタイマー記録スタンバイ手続きを行わずにタイマー記録開始時刻には強制的にタイマー記録が開始されるので、一度、タイマー記録設定入力すれば、間違いないタイマー記録開始時刻にタイマー記録が行われ、その間、操作者は通常モードでの他の操作を行うことも可能となる。

## 【0009】

【実施例】 以下、本発明の一実施例を図に基づいて説明する。図1は、本発明の一実施例によるビデオタイマー録画装置の構成図である。

【0010】 図1において、1は番組のタイマー予約機能を有するVTRであり、テレビアンテナからのチャンネル面像信号を選択するVTR用チューナー6、入力直像信号の記録またはテープ再生を行う記録再生部8、操作者が予約内容をリモコン等で入力するタイマー記録設定キーと設定内容を解除する設定解除キーを持つ操作部3、操作部3の設定入力を記憶してタイマー記録開始時刻には記録再生部8へ信号を送出して強制記録を行う制御部4で構成される。

【0011】 2はVTR1と組み合わせ使用するテレビ受像機であり、テレビアンテナ7からの入力チャンネルを選択するテレビ用チューナー9、画像信号処理部10、画像表示用CRT11、VTR1とテレビ用チューナー9の入力信号の切替スイッチ12で構成される。

【0012】 図2は図1に示す実施例の処理のフローチ

ャートである。つぎに図2を参照して動作について説明する。まず、操作者はタイマー記録したい番組の記録開始時刻、終了時刻、チャンネル、記録モード（標準モード、3倍モード等）等をVTR1の表示を確認しながら、操作部3のタイマー記録設定キーより直接、あるいはリモコン等から設定入力する（S-10）、設定入力後、内容の変更、または中止の場合は設定解除キーを押して内容をクリアする。

【0013】設定入力したタイマー記録内容は、制御部4に記憶され（S-11）、以降、制御部はタイマー記録開始時刻を監視（S-12）するが、タイマー・セットキー操作、タイマー記録スタンバイ処理は行われないので、その間に操作者が記録済テープの再生を記録再生部5で再生し、切換スイッチ12を介してテレビ受像機2でモニターしたり、通常記録モードにしてVTR用チューナー6で選択した番組を記録再生部5で記録しながら、その番組をテレビ受像機2でモニターしたり、テレビ番組だけを見る場合は切換スイッチ12をテレビ用チューナー側に切り替えてCRT11に表示する等の通常モードの操作は排除されない。

【0014】タイマー記録開始時刻直前に達したら（S-12）、制御部4は強制記録信号を記録再生部5へ送出し（S-13）、チャンネル選択信号をVTR用チューナー6へ送出して、最優先でタイマー記録を行う（S-14）、タイマー記録終了時刻に達したら、制御部4は記録再生部5でのタイマー記録を終了して、電源オフする（S-15）。

【0015】尚、VTR1とテレビ受像機2の電源は図1に示すように、別々にリモコン等でオン／オフしても良いし、電源スイッチ8を共通にして1個のリモコンでVTR1、テレビ受像機2の電源を同時にオン／オフするようにしても良い。

【0016】このような本実施例においては、制御部

4のプログラム上、タイマー記録設定入力を行ったら、その後のタイマー・セットキー操作＝タイマー記録スタンバイ手続きを行わず、タイマー記録開始時刻の直前に強制記録信号により最優先でタイマー記録を開始するようにしたので、操作者はタイマー記録設定入力のみで確実にタイマー記録が可能となり、その間、その他の通常モードの操作が排除されないので使い易さが向上する。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、記録開始時刻、終了時刻、チャンネル、記録モード等の予約設定を行うタイマー記録設定キーと、設定解除キーを有する操作部と、操作部の設定内容を記憶しタイマー記録開始時刻には記録部の強制記録信号を送出して強制的にタイマー記録を行い通常モードによる操作も可能とする制御部を備えたので、操作者はタイマー記録設定入力するのみで確実にタイマー記録することが可能となり、その間、通常モードでの操作を行うこともできるのでタイマー記録操作が簡単になり使い易さが向上する効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例によるビデオタイマー録画装置の構成図である。

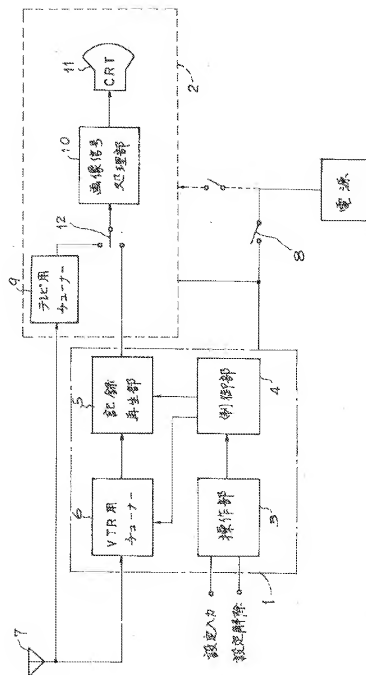
【図2】図1に示す実施例における処理のフローチャートである。

【図3】従来の磁気記録再生装置のフローチャートである。

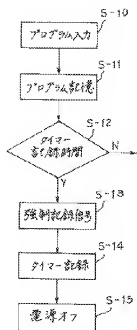
【符号の説明】

- 1 VTR（ビデオテープレコーダ）
- 2 テレビ受像機
- 3 操作部
- 4 制御部
- 5 記録再生部
- 6 VTR用チューナー

【図1】



【図2】



【図3】

